

日本患者・家族団体協議会

12月
1999

SSKO

JPCの 仲間 No.66

〒171-0031 東京都豊島区目白2-38-2
紫山会ビル4F
☎03(3985)7591 / F A X 03(3985)7598
購読料1部300円(年間1,500円送料込)

がんばれ難病患者 日本一周激励マラソン

47都道府県完走

全国の仲間と分かちあう

熱い思いの一步一步

7月25日、北海道
・宗谷岬を出発した
「がんばれ難病患者
日本一周激励マラソン」は、11月26日、
全国から結集した約350人の仲
間に迎えられ、無事、東京・厚生
省前に到着しました。厚生大臣に
要望書を手渡し、最後の寄せ書き
に署名を貰いました。



厚生省前で厚生大臣、知事の署名を披露する澤本さん(左から2人目)、伊藤代表(左から3人目)

出発の日、宗谷岬は気温12度、冷たい雨、風という悪天候でした。青森県からは連日、気温35度以上という猛暑が待っていました。関東を抜け、中部、北陸へ、山陰では台風にも遭遇しました。九州へは海底トンネルを走って渡りました。沖縄でも走りました。再び、九州、四国、東海を経て、厚生省に到着。最終日、苫小牧を出発し、雪の札幌市役所に到着。128日目、北海道庁赤レンガ前のゴールテープを切る事ができました。自らの足で、日本全国を一步一步夢に向かって走り続けた澤本さん。ランナーをバイクでサポートし、全国一周を果たした佐藤さん。危険を顧みず高所によじのぼり、鋭い目線でランナーを追いかけたカメラマン阿部さん。みんなの心配をよそに、ディレクター役の伊藤さん。しかし、忘れてならないのは、全国の多くの仲間の支援によつて成し遂げられたということです。このマラソンを通して新しい、素晴らしい絆が結ばれました。明日への新たな一步を踏み出そうではではありませんか。

日本一周激励マラソン 激走の記録を誌上で再び

がんばれ難病患者日本一周激励マラソン激走日誌抜粋です。マラソン本隊の日誌とホームページから転載させていただきました。
128日間の激走の様子をもう一度みなさんと一緒に振り返ってみたいと思ひ、全行程を一挙掲載しました。激励マラソン隊の軌跡を地図で追ひながら、日本一周してみませんか。

〔7月25日（日）〕

宗谷岬→豊富町（63 km）

横なぐりの雨、午前8時、最北端の地、宗谷岬をたくさんの声援の中、がんばれ難病患者日本一周激励マラソンがいよいよスタート。
〔7月26日（月）〕



豊富町→音威子府村（84 km）

今日は、全日程上、一番長い84kmの走行。朝7時出発、雨の中コンビニ弁当を神社の軒先で食べ、宿到着午後9時過ぎ。
〔7月27日（火）〕

音威子府村→土別市（74 km）

音威子府の山中で昼食。土別市の患者さん多数応援にかけつける。
〔7月28日（水）〕

土別市→旭川市（56 km）

午前7時出発、「旭川走ろう会」など24人の伴走者。午後4時過ぎ旭川市到着。市長はじめ150人出迎え、消防署音楽隊が盛大にセレモニーを盛り上げる。
〔7月29日（木）〕

旭川市→雨竜町（59 km）

午前7時45分出発、濁流の石狩川沿い神居古潭を走行。北竜町教育長

2

から寄せ書き。

〔7月30日（金）〕

雨竜町→岩見沢市（58 km）

難病連美唄支部の仲間の見送り。美唄からの途中、バス停のおばあちゃんから応援を受ける。
〔7月31日（土）〕

岩見沢市→札幌市（44 km）

午前8時、岩見沢支部準備会の人々に見送られ、一路札幌市へ向け出発。午後3時、難病センター到着。
〔8月1日（日）〕

〔8月1日（日）〕

札幌市→定山溪（24 km）

北海道難病連全道集会開催。ランナーの澤本さん激励。集会場「かでる」前から多数の伴走者と午後3時出発。
〔8月2日（月）〕

〔8月2日（月）〕

定山溪→ニセコ町（65 km）

土砂降りの中、中山峠を越えてニセコまで走行。連日の雨、雨で一部肌も冠水。
〔8月3日（火）〕

〔8月3日（火）〕

ニセコ町→長万部町（65 km）

快晴、羊蹄山に見送られてニセコを出発。スタッフ全員そうとう日焼けがすすみました。
〔8月4日（水）〕

〔8月4日（水）〕

長万部町→森町（63 km）

国立八雲病院筋ジス病棟に寄る。南九州病院筋ジス病棟への手紙を頼



全道集会から多くの伴走ランナーと一緒に出発する澤本さん

〔8月5日（木）〕

森町→函館市→青森市（63 km）

非常に暑い一日、函館で大歓迎を受ける。フェリーで青森に渡る。夕食にでた時、ねぶた祭を見物。
〔8月6日（金）〕

〔8月6日（金）〕

青森市→七戸町（64 km）

青森県庁。県知事出迎え、署名。患者会、県職員など約200人が盛大に集会を盛り上げる。二週間ぶりにゆっくり温泉につかる。
〔8月7日（土）〕

〔8月7日（土）〕

七戸町→二戸市（65 km）

七戸町、盛田氏補給物資を提供してくださる。
〔8月8日（日）〕

〔8月8日（日）〕

二戸市→玉山村（60 km）

大三本木峠を越える。NHK盛岡支局から取材あり。
〔8月9日（月）〕

〔8月9日（月）〕

玉山村↓盛岡市↓栗石市（37km）
岩手県庁訪問、保健福祉部長対応。
集会参加者40人。

〔8月10日（火）〕
栗石市↓角館市（58km）

連日記録的な猛暑の中、無事秋田県入りしました。角館市でALSの患者さん宅を訪問。

〔8月11日（水）〕
角館市↓秋田市（43km）

秋田県庁訪問、福祉保健部長対応。県庁前集會に60人の患者さんが心のこもった歓迎。

〔8月12日（木）〕
秋田市↓象潟町（71km）

車椅子のリウマチ患者さんが朝早い出発にかけつけてくれる。

〔8月13日（金）〕
象潟町↓酒田市（55km）

サポート車バンク。カメラマン阿部氏、新庄のご両親生家に立ち寄る。

〔8月14日（土）〕
調整日で初の休息日。澤本さんの体重4kg増、体重復活。

〔8月15日（日）〕
酒田市↓新庄市（54km）

阿部氏ご両親、応援グッズ多数買上げ。その他寄贈あり。

〔8月16日（月）〕
新庄市↓天童市（50km）

〔8月17日（火）〕



猛暑の中をひたすら走る山形県最上川橋付近

天童市↓山形市↓釜房（57km）

猛暑。山形県庁訪問、知事署名。健康福祉部長代理対応。県庁前集會40人の患者・家族が参加。

〔8月18日（水）〕
釜房↓仙台市↓柴田町（54km）

猛暑。宮城県庁訪問、知事対応、署名。ハーレー7台が先導。知事応接室に集會に集まった100人全員が知事と面會。

〔8月19日（木）〕
柴田町↓福島市（53km）

猛暑。福島県庁訪問、知事署名。出納長代理対応。

〔8月20日（金）〕
福島市↓猪苗代町（62km）

〔8月21日（土）〕
猪苗代町↓津川町（74km）

新潟県に入ってようやく小雨、ほつとひと息。

〔8月22日（日）〕

津川町↓新潟市（57km）

朝6時スタート。しかし、コンビニが見つからない。

〔8月23日（月）〕
新潟市↓長岡市（59km）

新潟県庁訪問。
〔8月24日（火）〕
長岡市↓石打（67km）
長岡市役所で激励ミニ集會。ご両親がパーキンソンの松木さん伴走。

〔8月25日（水）〕
石打↓湯宿（53km）

難所、三国峠を元気に通過。群馬県入り。新治村保健センターで歓迎ミニ集會。

〔8月26日（木）〕
湯宿↓前橋市（53km）

群馬県庁訪問。パトカー先導でラッパ到着。県知事も出席の県庁前集會に200人参加。中学校プラスバンドの応援。

〔8月27日（金）〕

前橋市↓岩舟町（61km）
伴走ランナー次々と参加。

〔8月28日（土）〕
岩舟町↓宇都宮市（40km）

〔8月29日（日）〕
宇都宮市↓笠間市（38km）
仏の山峠を越える。笠間で大歓迎を受ける。

〔8月30日（月）〕

笠間市↓水戸市（23km）

車で戻り栃木県庁訪問、福祉部長対応、署名。再び笠間からスタートし、茨城県庁訪問、知事対応、署名。患者、家族200人参加。

〔8月31日（火）〕
水戸市↓牛久市（56km）

伴走ランナー、町ごとリレー伴走で応援。
〔9月1日（水）〕
牛久市↓千葉市（68km）
いよいよ千葉県に入りました。

〔9月2日（木）〕
千葉市↓川口市（48km）

千葉県庁訪問、衛生部長対応、署名。東京・亀有、埼玉・川口で歓迎集會。
〔9月3日（金）〕
川口市↓所沢市（44km）
埼玉県庁訪問、健康福祉部長対応、署名。所沢で歓迎集會。

〔9月4日（土）〕

所沢市↓大月市（68km）
高尾山口で東京の見送り多数。山梨県境で出迎えを受ける。伴走者多数あり、坂木さん完走。

〔9月5日（日）〕
大月市↓甲府市（47km）

全行程の三分の一走破しました。富士吉田市から医学生11人が伴走。石和市からも病院職員伴走。

〔9月6日（月）〕

〔9月7日（火）〕

〔9月6日（月）〕
甲府市→富士見町（46km）

やっと涼しくなりました。山梨県
庁訪問、患者、家族80人参加。全盲
の透析患者の伴走あり。

〔9月7日（火）〕

富士見町→明科町（68km）

国道をそれ、旧中山道に行く。大
変な急坂、昔はさぞ大変であったろ
うと想いつつ。

〔9月8日（水）〕

明科町→長野市（61km）

長野県庁訪問。小坂さんが全行程
伴走。

〔9月9日（木）〕

長野市→新井市（50km）

りんごがたわわに実っている、山
村風景の中を走る。

〔9月10日（金）〕

新井市→糸魚川市（56km）

「えちご」、つついし、おやしらず
と言われる北陸海岸線を走る。三度
目の日本海をのぞむ

〔9月11日（土）〕

やっと二度目の調整日。でも洗濯
や機材の点検で忙しい休日。

〔9月12日（日）〕

糸魚川市→魚津市（52km）

天下の剣「親不知」は難所。

〔9月13日（月）〕

魚津市→小矢部市（62km）



小児糖尿病の小学生もお父さんと一緒に伴走（千葉県）

富山県庁訪問、厚生部長対応、署
名。患者、家族100人参加。地元
北日本放送密着取材。

〔9月14日（火）〕

小矢部市→金沢市（44km）

石川県庁訪問、厚生部次長対応、
署名。患者、家族110人参加。

〔9月15日（水）〕

金沢市→丸岡町（47km）

午後から台風の影響で時おり強い
風と雨。

〔9月16日（木）〕

丸岡町→今庄町（53km）

福井県庁訪問、福祉環境部長対応、
署名。患者、家族60人参加。

〔9月17日（金）〕

今庄町→彦根市（61km）

高月町役場前でミニ歓迎集会。

〔9月18日（土）〕

彦根市→大津市（58km）

「東レ」ランニングクラブ伴走。

常任幹事会を日程にあわせ開催。

〔9月19日（日）〕

三度目の調整日、伊藤氏（常任幹
事会）以外は休息日とする。

〔9月20日（月）〕

大津市→亀岡市（43km）

滋賀県庁訪問、知事対応、署名。
100人参加。午後、京都府庁訪問、
副知事対応、署名。100人参加。
多発性硬化症の二人車椅子で伴走。

〔9月21日（火）〕

亀岡市→福知山市（63km）

福知山駅前ミニ集会。台湾で大
地震のニュース。

〔9月22日（水）〕

福知山市→村岡町（67km）

強い断続的な雨、取材、集会の多
い一日。終日賑やかな伴走。

〔9月23日（木）〕

村岡町→鳥取市（54km）

四度目の日本海にほっとする。ラ
ンナー澤本さんは有名な鳥取砂丘を
走りました。鳥取日赤病院にALS
患者さんを見舞う。

〔9月24日（金）〕

鳥取市→大栄町（54km）

鳥取県庁訪問、知事対応、署名。
県難病連組織作りの話題。台風の影響
で風が強く、ランナー、バイクは
苦戦。ガードレールにしがみつき待
っていてくれた女性の応援に感激。

〔9月25日（土）〕

大栄町→安来市（56km）

全行程の半分を走りきりました。
各地で沿道応援を受ける。

〔9月26日（日）〕

安来市→松江市（21km）

距離が短く、午前中だけのラン。
午後のはんびり過ごしました。

〔9月27日（月）〕

松江市→掛合町（46km）

久しぶりの晴天。鳥根県庁訪問、
健康衛生部長対応、署名。三人のA
LS患者さんの願いをヘアピンに託
した女性ランナー伴走。

〔9月28日（火）〕

掛合町→三次市（58km）

鳥根県警協の見送りを受け、きれ
いな川（神野瀬川）を楽しみながら
の一日。

〔9月29日（水）〕

三次市→広島市（65km）

日本海と瀬戸内海の間、霧の
町三次市を出発。宿の都合で距離が
延びる。

〔9月30日（木）〕

広島市→岩国市（43km）

広島県庁訪問、知事対応、署名。
原爆ドーム、平和祈念碑に献花。

〔10月1日（金）〕

岩国市→新南陽市（59km）

山口県に入り、沿道の応援多数。

〔10月2日（土）〕

新南陽市→山口市（39km）

歴史を実感させる町に入ってきました。予定より早く宿に到着。

〔10月3日（日）〕

休養日、急に涼しくなりました。

〔10月4日（月）〕

山口市→下関市（69km）

山口県庁訪問、副知事対応、署名。いよいよ明日は九州上陸。

〔10月5日（火）〕

下関市→岡垣町（55km）

関門トンネルを走って九州上陸。門司で山口県と福岡県との交流。

〔10月6日（水）〕

岡垣町→筑紫野市（57km）

福岡県庁訪問、参加者120人。

〔10月7日（木）〕

筑紫野市→佐賀市（42km）

佐賀県庁訪問、副知事対応、署名。佐賀県の歓迎行事と時間あわず、時間前に通過。申しわけない。

〔10月8日（金）〕

佐賀市→武雄市（30km）

時々雨、今日も歓迎の方々と時間あわず通過。風情ある温泉街到着。

〔10月9日（土）〕

武雄市→大村市（43km）

美しい農村風景や茶畑を見ながらのラン。

〔10月10日（日）〕

大村市→長崎市（40km）

美しい海岸線走って、平和祈念像前に到着。献花。

〔10月11日（月）〕

休養日。とても蒸し暑い一日。

〔10月12日（火）〕

長崎市→長洲町（40km）

長崎県庁訪問、出納長対応、署名。フェリーで熊本県へ、有明海の夕日はとても素晴らしかった。

〔10月13日（水）〕

長洲町→宇土市（56km）

熊本県庁訪問、副知事対応、署名。台風18号の爪痕が目立つ。

〔10月14日（木）〕

宇土市→芦北町（58km）

台風18号の爪痕が生々しく続く。水俣の海が美しく光っている。

〔10月15日（金）〕

芦北町→宮之城町（61km）

鹿児島県入り、賑やかな出迎え、伴走。急な峠のある難所。

〔10月16日（土）〕

宮之城町→鹿児島市（51km）

晴れ、今日も賑やかな伴走者と一緒にのラン。

〔10月17日（日）〕

調整日にもかかわらず、明日に備え加治木町から国分まで調整ラン。

〔10月18日（月）〕

鹿児島市→那覇市（25km）

鹿児島県庁訪問、副知事対応、知事署名。国立南九州病院へ、北海道の八雲病院筋ジス病棟からの日本一

遅い手紙を届ける。保岡衆院議員伴走。空路沖縄入り。

〔10月19日（火）〕

那覇市→那覇市（42km）

沖縄県庁訪問、副知事対応、署名。南部をラン。北海道応援ツアーと沖縄県の方々との交流。戦跡公園の平和の礎、ひめゆりの塔記念館訪問。涙止まらず。平和の尊さを学ぶ。

〔10月20日（水）〕

那覇市→都城市（35km）

いよいよ帰りの道の第一歩。焼酎の名産地へ、大勢の出迎えを受ける。

〔10月21日（木）〕

都城市→宮崎市（56km）

宮崎県庁訪問、県知事対応、署名。100人を超える人が出迎え、テープを切って到着。

〔10月22日（金）〕

宮崎市→日向市（65km）

高校一年サッカー部11人など伴走し、日向市役所で職員のみ「ひよっここ踊り」の大歓迎を受ける。

〔10月23日（土）〕

日向市→重岡（61km）

延岡市を通過し、山道に入る。澤本さんは二回も猪を見たという。

〔10月24日（日）〕

重岡→犬飼町（52km）

朝の気温8度、懐かしい風景の中をひたすらラン。

〔10月25日（月）〕

犬飼町→松山市（27km）

大分県庁訪問、副知事対応、署名。「冬の銀河」の著者・故草伏村生さん宅訪問。くしくも草伏さんの命日と知らされる。大分港からフェリーで四国へ、瀬戸内海に夕日が沈む。

〔10月26日（火）〕

松山市→柳谷村（60km）

愛媛県庁訪問、知事対応、署名。南松山病院で盛大な歓迎。急坂を登ってまっ暗になった山道をラン。

〔10月27日（水）〕

柳谷村→伊野町（55km）

引き続き四国山地の中、溪谷沿いの国道をひた走る。高知放送密着取材。

〔10月28日（木）〕

伊野町→安芸市（54km）

高知県庁訪問、副知事対応、署名。幼稚園児が鳴子踊りで出迎え、稲生



小児童が伴走。清和学園生徒伴走。

〔10月29日（金）〕

安芸市→東洋町（72 km）

これまでで一番美しい奈判利川沿いの山道に行く。峠からの東洋町側の眺めが絶景。夕方ALSの患者さん宅を訪問。

〔10月30日（土）〕

東洋町→日和佐町（49 km）

海亀の来る町として有名な日和佐町へ。宿にALS患者の娘さんが訪ねて来る。

〔10月31日（日）〕

日和佐町→阿南市（42 km）

美しい海岸と沖合に小島がある阿南市へ。地元紙報道で反響大。

〔11月1日（月）〕

阿南市→白鳥町（43 km）

徳島県庁訪問、知事対応、署名。今日で100日目、ゴールまであとひと息。

〔11月2日（火）〕

白鳥町→高松市（40 km）

香川県庁訪問、出納長対応、知事署名。ALS患者さん宅訪問。

〔11月3日（水）〕

高松市→岡山市（34 km）

フェリーで本州再上陸。岡山県難病連20周年記念パーティーに出席。

〔11月4日（木）〕

岡山市→相生市（51 km）

岡山県庁訪問。瀬戸内海の素晴らしい風景の中をラン。夕暮れが早くなりランナーにとっては危険。

〔11月5日（金）〕

相生市→舞子（63 km）

沿道歓迎さかん。

〔11月6日（土）〕

舞子→大阪市（53 km）

神戸市では消防隊のブラスバンド演奏。ようやく大阪へ到着、やったーという感じ。

〔11月7日（日）〕

休養日。コインランドリーへ走ったり、床屋に行ったりと忙しい。

〔11月8日（月）〕

大阪市→奈良市（45 km）

車で兵庫県庁訪問、副知事対応、署名。急いで大阪府庁訪問、知事対応、署名。熱烈大歓迎の中、奈良市へ。バイクの佐藤さん風邪。

〔11月9日（火）〕

奈良市→河内長野市（49 km）

奈良県庁訪問。富田林、河内長野と盛大な歓迎ミニ集会。

〔11月10日（水）〕

河内長野市→和歌山市（59 km）

和歌山県庁訪問、副知事対応、署名。2000人の集会参加者。

〔11月11日（木）〕

和歌山市→五条市（57 km）

保育園児160人が小旗を振って

応援。小学生が伴走。道の駅では四郷千両太鼓の出迎え、と賑やか。

〔11月12日（金）〕

五条市→波瀬（57 km）

柿の葉寿司で有名なヤマト吉野店で大歓迎、差し入れたく。県境の高見トンネルを抜けると素晴らしい景色。

〔11月13日（土）〕

波瀬→松坂市（56 km）

松坂牛で有名な松坂市へ、宿で花の出迎えを受ける。

〔11月14日（日）〕

松坂市→鈴鹿市（30 km）

明日の負担を少なくするため、津市を越え、鈴鹿市までラン。

〔11月15日（月）〕

鈴鹿市→多度町（45 km）

車で三重県庁訪問、知事対応、署名。多度町→岐阜市（40 km）

〔11月16日（火）〕

岐阜市→岐阜市（40 km）

岐阜県庁訪問、副知事対応、署名。かわいい「鶴」が出迎え。「伊吹おろし」と言う木枯らしの中のラン。

〔11月17日（水）〕

岐阜市→名古屋（44 km）

愛知県庁訪問、知事対応、署名。この日に合わせ愛知県難病連大会を開催。参加者が歓迎。

〔11月18日（木）〕

名古屋→豊橋市（58 km）



神奈川から東京へ多摩川を渡る

国道1号線を東上、排気ガスがひどい。沿道からうれしい応援。

〔11月19日（金）〕

豊橋市→磐田市（51 km）

愛知の見送りと静岡の出迎え。

〔11月20日（土）〕

磐田市→静岡市（64 km）

NHKニュースを見たと言って親子3人飛び入り伴走。

〔11月21日（日）〕

休養日。だが、午前中は3つの取材。午後は東京での最終打ち合わせ。富士山がよく見えたのでスケッチ。

〔11月22日（月）〕

静岡市→沼津市（56 km）

静岡県庁訪問、副知事対応、署名。難病連の子供が描いた激励の絵を繋げて歓迎。

〔11月23日（火）〕

沼津市→箱根湯本（45 km）

調整日にもかかわらず、箱根の山

マラソン寄付・グッズ一覧表

99年12月15日現在

団体名	寄付金額	グッズ売上
北海道難病連合会	6,098,422	3,815,650
青森県実行委員会		3,000
岩手県難病連	32,500	13,500
宮城県難病連	85,800	503,180
秋田県難病連	30,000	10,500
山形県難病連	61,000	55,000
福島県難病連	465,820	334,400
茨城県難病連	40,000	1,000
栃木県難病連	1,025,110	1,205,770
群馬県難病連	2,000	17,000
千葉県難病連	78,860	20,800
東京都難病連	71,860	75,300
東京実行委員会	40,000	145,500
神奈川実行委員会	2,000	194,300
新潟県協	21,000	85,000
富山県実行委員会		
石川県実行委員会	113,000	39,020
福井県協	10,000	559,000
山梨県難病連	352,880	164,300
長野県難病連	315,000	255,500
岐阜県難病連	78,162	324,400
静岡県難病連	35,000	436,800
愛知県難病連		
三重県難病連	306,900	479,500
滋賀県難病連	891,521	341,020
京都府難病連	825,823	1,005,000
大阪府難病連	9,000	425,210
兵庫県難病連	50,000	800
奈良県難病連	218,100	241,500
和歌山県難病連	12,100	22,500
鳥取県実行委員会	5,000	
島根県実行委員会	5,000	50,000
山口県実行委員会	8,150	180,800
岡山県難病連		
広島県難病連	8,000	250,000
香川県難病連	80,000	98,500
愛媛県難病連	302,100	382,700
高知県難病連	33,000	
徳島県実行委員会	13,000	500
福岡県難病連	72,100	89,300
佐賀県難病連	4,200	
長崎県実行委員会		
熊本県難病連	78,100	17,300
大分県難病連	26,900	164,500
宮崎県難病連	6,000	108,000
鹿児島県難病連		594,140
沖縄県実行委員会		
オーストラリア協	30,000	
スウェーデン協	30,000	29,000
日本全肝協	33,000	446,550
日本全交災協	10,000	17,520
日本全腎協	2,433,451	512,780
日本全心臓協	81,400	59,300
日本全肺協	57,430	233,200
日本全低喘連	15,000	
日本全脊柱連	35,000	118,270
日本全脊柱連	20,000	119,400
日本全脊柱連	10,000	
JPCその他	965,999	219,270
合計	15,633,788	14,465,430

越え。渋滞ひどく補給車、ランナーに追いつけず。
 (11月24日(水))
 箱根湯本→藤沢市(39km)
 朝から冷たい雨、そろそろ東京の匂いがしてきた。
 (11月25日(木))
 藤沢市→川崎市(35km)
 神奈川県庁訪問、副知事対応、署名。NHK全国放送見られなくて残念。
 (11月26日(金))
 川崎市→東京(26km)
 東京都庁訪問、衛生局長対応、署名。その後、全国の仲間の待つ厚生省へ。厚生大臣署名に応じる。夜、

東京到着を祝って懇親会に参加。
 (11月27日(土))
 霞ヶ関ビルで全国患者・家族集会に参加。集会後、大洗港からフェリー乗船。
 (11月28日(日))
 フェリーの上にも雪がちらつき始めた。北海道が近いことを実感。苦



議院面会所で国会議員出迎え



北海道庁赤レンガ前ゴールイン

小牧港に上陸。
 (11月29日(月))
 苫小牧市→札幌市(65km)
 朝5時30分スタート。雪の札幌市役所を経て、北海道庁赤レンガ前にゴールイン。遂に完走。「お帰りのさい！がんばれ難病患者日本一周激

励マラソン完走を祝う会」に出席、澤本さん一年数か月ぶりにシューズ型ジョッキでビールを乾杯。お疲れさま、澤本さん、佐藤さん、阿部さん、伊藤代表幹事。



完走記念祝賀会で花束を受け取るマラソンスタッフ4人

マラソン成功と難病対策の拡充を 全国患者・家族集会開催される

11月27日、午前9時より東京霞ヶ関「プラザホール」で全国患者・家族集会は、全国から約1500人の参加者が一堂に会し開催されました。冒頭、伊藤代表幹事は、「日本一周激励マラソンで6200kmを走りきった場面に私たちが組織として関わることでできたことは、大変幸運だったと思います。」

今後、運動をすすめる上でこの経験は貴重な財産になります。多くの患者、家族の方々は、自ら参加出来る何かを待っているのです。創意工夫、情熱の芽を摘んではならないと、全国を回ってきて感じました。」と、あいさつしました。

つづいて、小林事務局長が基調報告として、「一年弱の準備期間を経て、『がんばれ難病患者日本一周激励マラソン』は、行く先々で各地の患者や家族、市民、自治体関係者らに熱烈に歓迎されました。」

この取り組みの中で、難病対策、福祉対策の拡充が多くの人々に共通する課題であることを改めて考えさせました。このマラソンの特徴は、JPC加盟でない地域でも、疾病団

体の県支部や市民が協力して、JPCがこれまで経験したことがない幅広い連帯を作り出しました。

難病公費負担制度の患者負担を元に戻し、総合的難病対策の拡充をめざす運動をすすめる、ゆたかな医療と福祉をめざす運動は、私たちの前に数多く山積しています。より一層輪を大きくして運動を強めていきましょう」と、報告しました。

第二部マラソン報告では、ランナーの澤本和雄さんが「みなさんここで再びお会いすることができ、本当にうれしく思います。6200kmを一步一步ここまで走れたのは、スタッフ、患者と家族のみなさんの温かい声援があったからだと思えます。各地で抱えきれないほどの声援をいただき、そのひとつひとつが私の胸の中に刻み込まれています」と、あいさつしました。

バイクで伴走した佐藤真吾さん、カメラマンの阿部重宣さんが紹介されたあと、各ステージごとにデジタルカメラで撮影したスライドを見ながら、会場全員で駆け足でしたが日本一周気分になりました。

激励マラソン 東京到着祝う 懇親会にぎやか

11月26日、東京、厚生省前で「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン」の到着を待ち、難病対策の拡充を訴える要請を行った全国からの代表は、午後6時よりホテル浦島に会場を移し、130人が参加して懇親会が開催されました。

会場には、伴走のバイクを提供してくださった本田技研の社会貢献室長をはじめ、紙面での応援と厚生大臣への面会にお力添えいただいた毎日新聞の渋川記者など、このマラソンを陰で支えてくれた多くの方々も

出席してくださいました。

懇親会は、全国47都道府県を走り抜いたマラソンスタッフが元氣一杯に壇上に立ち、全国の仲間の支援がこのマラソンを成功に導いたことをともに喜び合いました。会場では、澤本さんを囲みTシャツや応援フラッグにサインを求める人、バイク伴走の佐藤さんを囲んで写真に収まるグループ、久しぶりに親子4人の再会を果たしたカメラマンの阿部さん、と和氣あいあいのうちにすすめられました。

海外研修派遣は 大分の二木さんに

11月26日、東京で開催した全国患者・家族集会の懇親会で、恒例のJPC協力会員、海外研修派遣抽選会が行われました。みんなが注目する中、見事に幸運を引き当てたのは、大分県在住の二木健一さんでした。おめでとーございませう。



マラソン一色の事務局、忙しい充実した日々。北海道は寒かったなどと余韻にひたる暇もなく、残務整理が山積み。どうしよう！

一九七六年二月二十五日第三種郵便物認可
SSKO増刊通巻三八七三号（毎週月・火・木・金発行）

発行所 身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砦6-26-21

頒価三百円

目 次

- がんばれ難病患者 日本一周激励マラソン 597
- 全国患者・家族集会 604